



平成19年9月21日

各 位

会社名 株式会社 イ チ ヤ
代表者名 代表取締役社長 山本 真嗣
(ジャスダック コード9968)
問合せ先 取締役管理部長 橋田 宗人
(TEL. 088-823-2638)

特別損益の追加発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年3月1日付「特別損益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」及び平成19年3月19日付「特別損益の追加発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表したとおり、平成19年7月期中間期において特別損益を計上しておりましたが、平成19年7月期決算において追加で特別損益を計上する見通しになりましたので、その概要とともに、平成19年3月26日付発表いたしました、平成19年7月期（平成18年8月1日～平成19年7月31日）の通期の個別及び連結の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損益の発生及びその内容

(1) 特別損益の内容

平成19年3月26日付中間決算短信で特別損失として合計1,008百万円を計上しておりましたが、追加で(株)葵投資パートナーズ匿名組合の収益の悪化に伴う損失拡大に備えるため、投資損失引当金繰入額を230百万円追加し総額787百万円、また同様に関係会社（(有)カーサ、(株)サハヅロト）の収益悪化に対応するため関係会社株式評価損80百万円を追加し総額105百万円、その他の投資有価証券の時価の下落による投資有価証券評価損16百万円を追加し総額259百万円、新株予約権の権利行使による株式の発行のため株式交付費4百万円を追加し総額14百万円、商品の価額下落に備えるため、たな卸資産評価損を299百万円計上いたします。なお、貸倒引当金繰入額は戻入が発生したため15百万円減額し総額148百万円となります。これらにより特別損失の合計は1,624百万円になる見込みであります。また、特別利益としては投資有価証券売却益が19百万円発生し、中間期で計上したものと合わせ合計32百万円になる見込みであります。

連結決算では、中間決算短信で発表いたしました特別損失合計1,135百万円に追加で、(株)葵投資パートナーズ匿名組合の貸付金等の回収可能性が懸念されること等から貸倒引当金を追加で336百万円計上し総額914百万円、その他に個別で計上した特別損失として商品評価損299百万円が追加となり総額304百万円、投資有価証券評価損の追加となったもの16百万円を追加し総額259百万円、株式交付費4百万円を追加し総額14百万円となり、その他中間期計上済みの特別損失（固定資産売却損、減損損失、持分法投資損失）299百万円を合計すると総額1,792百万円の特別損失となる見込みであります。また、特別利益としましては関係会社株式の売却に伴う投資有価証券売却益が180百万円発生し、中間期で計上したものと合わせ合計192百万円となる見込みであります。

(2) 当期における主な特別損益の内訳と合計

< 特別損失 >

【個別】

(単位：百万円)

特別損失内容	中間期	期末	備 考
固定資産売却損	8	8	平成 19 年 3 月 1 日発表済
投資有価証券評価損	243	259	内 67 百万円は平成 19 年 3 月 1 日、175 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
投資損失引当金繰入額	557	787	内 557 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
貸倒引当金繰入額	163	148	内 36 百万円は平成 19 年 3 月 1 日、127 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
株式交付費	10	14	内 10 百万円は平成 19 年 3 月 1 日発表済
関係会社株式評価損	24	105	内 13 百万円は平成 19 年 3 月 1 日、11 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
たな卸資産評価損	0	299	
(合計)	1,008	1,624	

【連結】

(単位：百万円)

特別損失内容	中間期	期末	備 考
固定資産売却損	8	8	平成 19 年 3 月 19 日発表済
投資有価証券評価損	243	259	内 243 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
貸倒引当金繰入額	577	914	内 577 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
株式交付費	10	14	内 10 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
減損損失	124	124	平成 19 年 3 月 19 日発表済
持分法による投資損失	166	166	平成 19 年 3 月 19 日発表済
たな卸資産評価損	4	304	内 4 百万円は平成 19 年 3 月 19 日発表済
(合計)	1,135	1,792	

< 特別利益 >

【個別】

(単位：百万円)

特別利益内容	中間期	期末	備 考
債務免除益	12	12	平成 19 年 3 月 1 日発表済
投資有価証券売却益	0	19	
(合計)	12	32	

【連結】

(単位：百万円)

特別利益内容	中間期	期末	備 考
債務免除益	12	12	
投資有価証券売却益	0	180	
(合計)	12	192	

(3) 業績に与える影響

上記(1)の特別損益の追加発生により、特別損失として個別決算では総額 1,624 百万円、連結決算では総額 1,792 百万円の特別損失となり、それぞれ税引前当期純損失を同額増加させます。また、特別利益として個別決算では総額 32 百万円、連結決算では総額 192 百万円を計上し、それぞれ税引前当期純損失を同額減少させます。

2. 平成 19 年 7 月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期（平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	850	△600	△1,700
今回修正 (B)	857	△657	△2,257
増減額 (B - A)	7	△57	△557
増減率	0.8%	—	—

(2) 修正理由

平成 19 年 3 月 26 日付中間決算で発表いたしました通期の業績予想について、売上高は概ね予想通り推移しましたが、経常利益は関係会社(株)葵投資パートナーズ匿名組合の有価証券の運用損による匿名組合契約分配損が増加し経常損失が拡大しました。また、特別損益は上記 1 の特別損益を追加計上することにより、当期純損失が増加する見込みとなったことから、通期の業績予想を修正いたします。

(3) ご参考：前期の実績（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期 (H17/8～H18/7)	1,407	33	△1,245

3. 平成 19 年 7 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期（平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,200	△950	△2,200
今回修正 (B)	1,210	△1,009	△2,615
増減額 (B - A)	10	△59	△415
増減率	0.8%	—	—

(2) 修正の理由

平成 19 年 3 月 26 日付中間決算で発表いたしました通期の業績予想について、売上高は概ね予想通り推移しましたが、経常利益は関係会社(株)葵投資パートナーズ匿名組合の有価証券の運用損が増加し経常損失が拡大しました。また、特別損益は上記 1 の特別損益を追加計上することにより、当期純損失が増加する見込みとなったことから、通期の業績予想を修正いたします。

(3) ご参考：前期の実績（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
通 期 (H17/8～H18/7)	1,876	△151	△1,088

以 上